

みんなで応援！ 巽山公園で 1,000 個のバルーンリリース

復興の願いを空へ

復興への願い、被災地を応援する参加者の気持ちをのせて、空にはなれた風船



土風館で津波写真展



4月29日から5月15日まで、久慈・野田津波被害写真展「愛する故郷へ」が、やませ土風館で開かれました。

久慈市と野田村の被害状況や復旧作業などの写真約400点を展示したほか、応援メッセージも受け付け。見学者は被害の悲惨さを目に焼きつけ故郷への思いを強くしていました。

見学者から寄せられたメッセージ↓

小さいな風景が...
残念です。
一日も早く元の生活
に戻れるように
応援します。ファイト!

復興の願いを込めた千個の風船を空に飛ばす「バルーンリリース（街の駅・久慈主催）」が4月29日、巽山公園で開かれました。

復旧・復興に向けた動きを後押しするかのよう、この日の天気は晴れ。少しでも被災地にエールを送りたいと、市内外から200人以上が参加しました。

参加者は「早く元気になって」「みんな応援しています」「みんなで頑張ろう！」などの応援メッセージを風船に記入。まだ字が書けない小さな子どもも、かわいらしい絵や記号などを一生懸命に描いていました。

風船を握り締め、沿岸方面を見つめる参加者。一斉に手をなすと赤、青、黄色などの風船は空へと舞い上がり、風に乗って沿岸方面に飛んでいきました。

一戸町から帰省し、巧瑛くん（4歳）と采花ちゃん（1歳）を連れて参加した日澤千賀子さんは「津波の映像を見ると子どもたちも悲しそうです。みんなが早く元気になればいいですね」と、1日も早い復興を祈っていました。



風船一つ一つに願いを込めました

Information

東日本大震災復興支援プロジェクト

N響メンバーと仲間たちによるアンバーホール音楽の贈り物



永峰高志 芸術監督
Photo:Naoko Nagasawa

アンバーホール復興支援コンサート第1弾。同館芸術監督の永峰高志氏のほかN響メンバーなど約20人による室内楽コンサートです。（震災で中止になった公演です）出演料の一部を復興支援に充てるほか、施設を訪問しての演奏会も開催する予定です。

- ▶日時…8月9日(火) 18時30分～
- ▶会場…アンバーホール
- ▶前売り券…全席指定 500円
※当日は 700円

前売り券
発売日

6月5日(日)9時～

※友の会先行発売6月4日(土)9時～

☎アンバーホール ☎52-2700